

D
25

宮崎県石油協同組合

住 所	〒880-0013 宮崎県宮崎市松橋1丁目10番8号 宮崎県石油会館 内		
U R L	https://miyasekiyu45.jimdo.com/		
設 立	昭和27年12月	主 な 業 種	石油販売業
組 合 員 数	253人	出 資 金	95,941千円

■背景・目的

当組合では、県内各地に支部を設置して職員を雇用しており、主な業務として官公需事業(給油券の組合員SS(ガソリンスタンド)からの回収、とりまとめ、組合への発送等)を行っている。

しかしながら、組合員数の減少により、組合財政は毎年赤字計上となっていることから、様々な業務効率化策を検討し、最終的にはネットワークシステムの構築に至った。

■取組みの手法と内容

平成24年度より組合の業務効率化など組織改革の検討を始め、平成28年4月には組織改革を実施し、合わせて官公需共同受注事業の業務効率化の検討を始めた。

当該事業・活動については役員会で方向性を決め、詳細は共同受注委員会で詰めていった。当初は中央会及び宮崎県産業振興機構、宮崎県よろず支援拠点などのアドバイスを受けてカード式やQRコード式でのカード化など様々な方式を検討したが、最終的にはクラウド型のネットワークシステムが最適であるとの判断に至った。

そこで、具体的なシステム構築の段階では、中央会の補助事業を活用して少人数のネットワーク構築事業委員会(外部専門家含む3名)を構成してシステム要件の検討を重ね、細部については組合事務局が主体となり、システム業者と協議・調整等を行った。

当該事業で構築した主なシステムは、①組合員が給油情報を入力するクラウド上のシステム(新規構築)、②組合側が請求書発行等を行うシステム(既存のものを改良)の2つであったが、特に①については、組合員SSによって規模やICTへの対応力が全く違うため、小規模SSでも使える簡素なシステムを構築することを心がけた。

■成果とその要因

システム構築段階においては、中央会の補助事業を活用することで、内容の充実及び資金負担の軽減につながった。

また、詳細のシステム要件については、少人数の委員会方式としたことで機動性の確保と内容の充実が図られただけでなく、導入前に数名の組合員に稼働テストに参加してもらい、意見を反映して改良を重ねたことが新システムへの移行率の高さにつながった。

特徴ある活動

給油情報入力画面

給油データのインポート画面



Point

中央会の補助事業を活用して低コストでシステムの検討・導入ができたこと及び現場の組合員SSの声を反映した簡素なシステムを構築できたこと。